

第2回専門家会議で出された意見のポイント

施設を分散し段階的に整備する方法でも、基本構想の基本理念等を損なうことなく具現化でき、現在の状況に対応しながら整備できる

- 1 市民が既存施設でどのような活動を行ってきたかを考慮した施設内容の組み立ても必要ではないか
- 2 施設のあり方が、**リニア開業後の市民活動**にも大きくかかわってくる
- 3 郊外や中心市街地にある他のホール施設の利用特性を調査し、**飯田市にフィットするもの**を検討してはどうか
- 4 **交流促進と創造支援の機能が「飯田ひろば」のメインのコンセプト**であり、そこに他の機能をどのように付随させるのが重要になる
- 5 **アクセシビリティ**は重要なポイント 車を運転しない人たちの「集まる」への対応が必要になる
- 6 周囲の公共空間、外部空間も活用しながら、施設に交流促進や創造支援といった機能を持たせ、基本構想の「ひろば」を**周辺一帯を含めてより空間的に表現**する方法もある
- 7 音楽や演劇などに対応できる多目的ホールの技術は進化 コストとのバランスを見る必要はあるが、**技術を活用**して基本理念の達成を目指すこともできるレベルにある
- 8 メインホールだが中規模利用ができる、サブホールだがリハーサル機能を持つ **複合化させて機能の充実を図る**やり方もある
- 9 メインホール以外の**日常的に利用できる施設は簡単な操作で利用できる設備**にして経費軽減することも考えられる
- 10 **休館日の設定や、大規模利用と日常利用のエリアを分ける**ことで経費軽減する方法もある
- 11 分散する施設への**機能の与え方**によっていろいろな可能性が考えられる
- 12 施設の**一体整備は、人の賑わいが一体でできる、見える**。一方、施設の分散整備は、**利用者の間口や選択肢を増やす**ことができる
- 13 **選択肢を持って集まれる**ことが交流促進や創造支援に大きな影響を与える
- 14 施設の分散整備は、各施設に特色を持たせて、機能を発揮できることが魅力。**活動が多様化していく中でも有効**と思われる
- 15 施設の分散整備は、**複数の箇所で人の賑わいが施設の外ににじみ出るのは魅力**だが、機能の組み立て方など考慮する点は増える
- 16 建設現場の週休2日制導入や資材費の高騰で**4～5割ほど建設費が上昇している** 今後の更なる**上昇も懸念される**
- 17 分散整備は、延床面積は増え、管理運営のための人材が必要。コスト等との兼ね合いから各施設を魅力的にする**限界点はおのずとあるので、その両方を長期的に見て計画することが必要である**